

かくだ市議会だより



【今号の表紙】『想像』

角田高等学校 美術部 市場 伊織 さん
F50号 油彩

今回の絵は自分が絵を描いている時の頭の中を表現するために、
綺麗に整いつつも何か不思議な雰囲気が出るように意識しました。

第431回定例会

- | | | | |
|--------------|----------|---------------|-----------|
| ■概要・質疑 | ……………2 | ■常任委員会・会派代表質問 | ……………3 |
| ■予算審査特別委員会 | ……………4・5 | ■議案審議結果 | ……………6・7 |
| ■第430回臨時会の概要 | ……………7 | ■一般質問 | ……………8～14 |

角田市議会から

- | | | | |
|---------------|---------|--------|---------|
| ■常任委員会行政視察の報告 | ……………15 | ■議員研修会 | ……………16 |
|---------------|---------|--------|---------|

2月 第431回 定例会

第431回定例会は2月17日から3月12日までの24日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった令和7年度予算や条例の制定・改正などの議案30件を審議し、原案のとおり可決、人権擁護委員の候補者3人の推薦に係る諮問を適任と答申しました。

また、令和7年度施政方針に対する会派代表質問や12人の議員が行った一般質問では、白熱した論戦を繰り広げました。

最終日には議員提出議案が2件提出され、原案のとおり可決しました。

令和6年度
補正予算



令和7年度
予算



議案第29号
財産の無償貸付について(角田消防署移転用地)
問 現在の角田消防署庁舎は、解体するののか。
答 建設から50年以上経過し、老朽化が著しいため、角田消防署庁舎を所有する仙南地域広域行政事務組合で解体する方向である。



議案第2号 角田市一般会計補正予算(第9号)

歳入
農林業使用料

問 約773万円の収入増になった理由を問う。

答 当初、令和5年度実績に基き27件分の使用料の予算を計上していたが、件数の増加により、令和6年度の件数が40件となったほか、今後5年間の使用料を一括納付した事業者があったためである。

問 5年分の一括納付とは、具体的にどのような使用に係る収入なのか。

答 面積が比較的大きい小田地区の太陽光発電施設に係るもので、施設内の農道や水路など農業用の使用に係るものである。

商工費
観光地維持管理事業

問 スペースタワーのエレベーターの工事費が減額になった背景を問う。

答 特殊な構造であるエレベーターの既存部品を一部活用することで、工事費の縮減が図られた。また、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを行い、財源の一部を確保している。



土木費

大沼野田前線道路整備事業・南町斗蔵線道路整備事業
問 大幅な減額になった背景を問う。

答 各道路整備事業は、角田市防災・減災構想※に位置付けられている事業で、国の交付金を活用して事業を進めているが、令和6年度の交付金の配分が50%となったためである。

問 なぜ、令和7年度に繰り越すことになったのか。

答 主な繰り越し内容は工事費で、大沼野田前線は、盛り土工事を計画していたが、未相統土地の買収が進まず、工事発注ができなかったためである。南町斗蔵線も同様の理由であるが、用地買収が完了し、現在、残区間の工事発注の準備を進めている。



※角田市防災・減災構想とは、令和元年東日本台風(台風第19号)で、洪水による家屋浸水被害が集中した7地区(小田・裏町、左閘岡・江尻、江尻谷津前、野田、枝野、神次郎)のハード対策について、計画的に対応するために策定した構想のことです。

教育費
小・中学校施設整備事業

問 市内すべての小・中学校に防犯カメラを設置することだが、詳細説明を求め。

答 防犯カメラの設置場所は、各学校の形状により異なるが、不審者の侵入が確認できる箇所に平均で5台設置する予定である。防犯カメラは24時間稼働し、映像は、リアルタイムで職員室のモニターで確認ができる。録画も行うので、校内の見通しが困難な場所の状況把握、不審者の侵入防止、トラブル解決の証拠にもなり、犯罪意識の抑制や児童・生徒の安心感の醸成が図られる。なお、防犯カメラの運用については、基準を設け、適切に行う。

条例審査

2月定例会では、2件の条例議案が常任委員会に付託(議会の議決に先立って詳しく検討すること)され、審査が行われました。

議案第9号 角田市阿武隈急行線応援基金条例の制定

本市の重要な生活インフラである阿武隈急行線への支援を継続するため、基金を創設するもの。

問 基金を設置する目的に「市内外の個人団体等の応援を受け」とあるが、どのようなことを想定しているのか。

答 個人や企業などの寄付、クラウドファンディング(クラファン)などである。市内外の皆さんから応援をいただきながら、阿武隈急行線の存続に取り組んでいく。

阿武隈急行線の利用促進を図るための取り組みについて問う。

答 通学定期券購入費の2分の1助成、2人以上の乗車で半額助成などのほか、親子で阿武隈急行線に親しむ「お絵かきトレイン」や、阿武隈急行線利用促進協議会の復活で、少年野球大会などが開催された。



阿武隈急行線
クラファンの
詳細はこちら



阿武隈急行線支援&引退車両の保存・活用プロジェクト

常任委員会・会派代表質問

議案第10号 角田市教育振興基金条例の制定

学ぶことの楽しさを原動力に幅広い教育振興を図るため、基金を創設するもの。

問 基金の用途や事業内容を具体的に示すべきと考えるが。

答 角田市教育振興基本計画の基本目標を重点化・キーワード化(下記)し、目標達成のため

に行う特色ある事業に基金を充てる。令和7年度は、学校教育では、AIドリルの導入や宇宙の読本の配布、社会教育では、角田市高校生探究研修支援事業などを行う。

角田市の教育の重点【FRESS】

- ・楽しい授業づくり **F**un classes
- ・地域の教育力活用 **R**egional educational ability
- ・学びの環境整備 **L**earning **E**nvironment
- ・宇宙教育の展開 **S**pace education
- ・スポーツの振興 **S**ports

学びって楽しい!

なりたい自分の実現と社会への貢献

会派代表質問



かくだ未来倶楽部
武藤 広一

議員▼小児科医院を開設する医師に対する補助制度を創設し、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めるとある。

河北新報にも掲載されたが、具体的な内容を問う。
市長▼小児科専門の医療機関を新規開設し、10年以上継続して医療を行う見込みがあることが条件となる。補助対象経費は、土地、建物、医療機器の取得費、建物改修費などで、補助額は、補助対象経費の2分の1の範囲内とし上限を1億円とする。
議員▼農地中間管理機構を活用し農地の集約を進めるとあるが、現在の農地集積率と具体的な農地の集約方法を問う。
市長▼令和6年3月末時点の農地集積率は58.8%である。農地の集約方法は、市内7地区で検討を重ね、令和7年3月策定予定の角田市地域計

画において示す将来の農地の集積目標地図に基づき、地域での話し合いを継続し、持続的かつ効果的な営農ができるよう集積・集約化を進める。
議員▼企業誘致について、新たな用地の確保のために適地基礎調査などの造成事業を進めるとあるが、具体的な内容やスケジューリングを問う。
市長▼5から10カ所の候補地を抽出し、交通条件、排水路等のインフラ整備のハード面と、従業員への利便性や用地取得の難易度、法規制に関する調査等のソフト面の評価を行い、有力な候補地を絞り込む。新たに選定する候補地と、以前調査をした売却済みの1カ所を除く残りの7カ所を含めて比較検討する。
今後、令和7年度に最終候補地を選定し、令和8年度から用地買収・測

量実施設計業務を開始し、令和9から10年度に造成工事を終え、令和10から11年度に分譲開始を想定している。
議員▼市民活動支援センターの設置場所と具体的な業務内容を問う。
市長▼まちづくり推進課に設置する。業務内容は、市民活動に関わる相談・助言、人材の育成・支援、情報の収集・提供、活動分野を超えた交流と連携の推進などを行う。
議員▼子どもたちが、わくわくして学ぶ宇宙教育を展開するとあるが、具体的な内容を問う。
市長▼これまで各学校で行っていたJAXAとの連携事業やコスモハウス施設見学などに加えて、各学校において授業パッケージによる市内統一の授業を行うほか、宇宙関連の専門家を招いての特

予算審査特別委員会での質疑

商工費

観光地維持管理事業
(観光トイレ整備設置工事)

斗蔵山駐車場のトイレを整備するもの。

問 今後、市内の公衆トイレの改修予定はあるのか。
答 市内の公衆トイレは、計画的に改修などを実施しており、令和5年度に交通公園のトイレを改修した。斗蔵山駐車場のトイレは使用できない状態だったため、今回整備することになった。人が集まりやすい場所や老朽化が著しい場所は、対応が必要と考えている。

総務費

市民活動支援事業
(市民活動支援センター運営支援業務委託)

市民の自主的かつ自発的に行う営利を目的としない公益的な活動を支援し、市民と行政の協働のまちづくりの推進を図るもの。

問 どのような体制で、どのような支援を行うのか。
答 市職員1人とスタッフ1人の2人がまちづくり推進課に常駐し、主に相談窓口、人材育成、情報収集・発信、交流・ネットワーク、法人設立支援の5つの支援を行う。

消防費

災害対策事業
(防災行政無線システム整備工事)

自然災害などの緊急事態時に、市民への確実な情報伝達手段を確保するため、システムを整備するもの。

問 どのようなシステムなのか。
答 防災行政無線(同報系)屋外拡声支局(屋外スピーカー)を市内14カ所*に設置し、迅速に情報を一斉伝達できるようにする。また、角田市防災アプリ(仮称)を導入し、かくだ安全・安心メールと併用することで、幅広い情報伝達を図る。

問 みやぎ防災アプリと今回導入予定の角田市防災アプリ(仮称)の関連性は。
答 みやぎ防災アプリは、プッシュ通知(県からの避難情報の受信のみ)、避難所受付(二次元コードを読み取り受付)、アンケートの3つの機能が主となる。角田市防災アプリ(仮称)は、気象情報、お知らせ、防災情報を配信できるようにしていく。

民生費

地域子ども・子育て支援事業
(子ども食堂運営費補助金)

子どもの健やかな成長と子どもの居場所づくりの推進を図るため、無料または定額で食事の提供を行う子ども食堂を運営する団体に、補助金を交付するもの。

問 対象となる団体数と、補助金額の根拠について問う。
答 令和7年度は2団体を予定しており、運営団体の過去の費用負担の実績と県の補助金を活用することから、1団体につき12万円となった。

*屋外拡声支局の設置場所
角田市役所、角田消防署、角田自治センター、横倉自治センター、小田自治センター、枝野自治センター、金津小学校、桜自治センター、旧東根小学校、北郷自治センター、旧西根幼稚園、道の駅かくだ、中島公民館、野田公民館

本会議での討論



賛成
齋藤 強

歳入は、市税の増収を見込み、地方交付税は国の財政計画を考慮し0.6%の減収であるが、ふるさと納税や未利用公有地財産売却など、できる限りの財源確保に取り組んでいる。歳出は、新たな防災行政無線システムの導入を含む防災・減災対策事業、継続した子育て支援対策、農業、畜産業の安定的な経営、阿武隈急行線の存続、少子高齢化対策など、安全・安心した生活のために必要な予算と確認できたことから、すべてに賛成する。



賛成
瀧口 聖人

令和7年度予算は、第6次長期総合計画で黒須市政が目指す「市民力咲き誇る。角田市 安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち」をつくるための基本理念「将来を見据え人を育み、活かすまちづくり【市民力】」、「ともに生き、活かし合うまちづくり【地域共生】」、「地域資源を活かすまちづくり【地域資源フル活用】」に基づくものと理解した。物価高騰の影響が非常に大きいため、引き続き市民生活支援の充実を図ることを強く要望し、賛成する。



反対
日下 七郎

法に基づき、歳入の土地建物収入の一部は、行政財産目的外使用許可に係る使用料とすべき。また、行政組織規則を改正し、こども家庭センターにおいて、妊産婦、子育て世帯などの母子保健・児童福祉が一体的となる相談支援を行うべき。さらに、将来の居住、都市機能の誘導となる立地適正化計画の制度化について、市街地と郡部とを結ぶコンパクト・プラス・ネットワーク形成を推進するまちづくりとなるため、反対である。

令和7年度 角田市一般会計予算
167億8,800万円

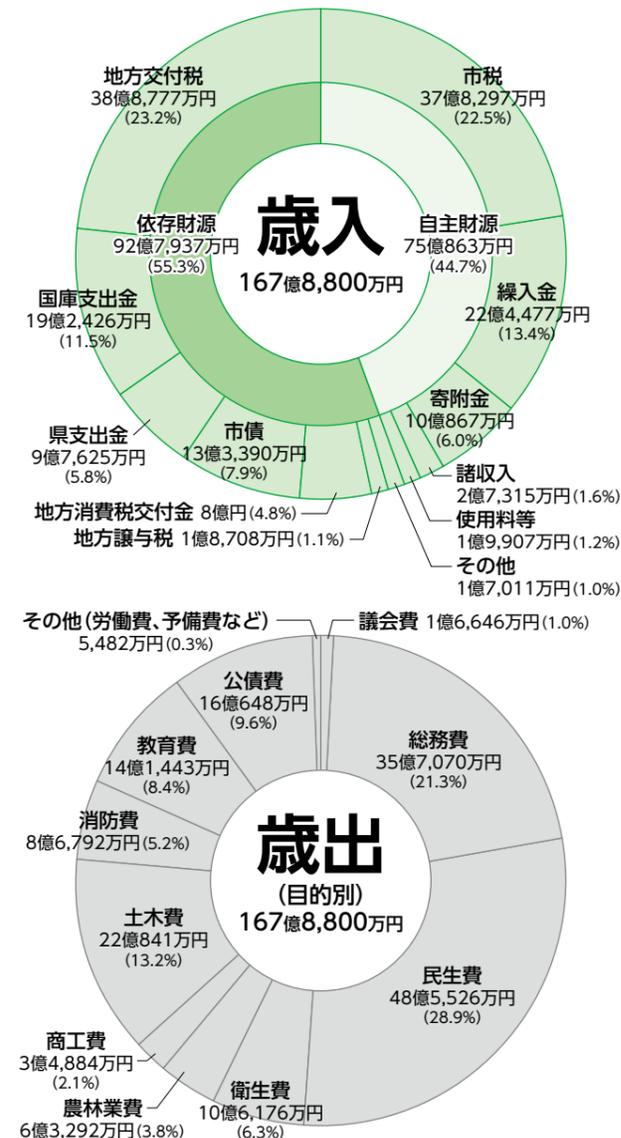
(前年度比14億3,400万円増)

一般会計・特別会計・企業会計 総額276億3,254万円

2月定例会では、16人の全議員で構成する予算審査特別委員会(菊地利衛委員長、武藤広一副委員長)を設置し、令和7年度予算を審査しました。

一般会計では、防災・減災構想に掲げる南町斗蔵線道路整備や総合保健福祉センター(ウエルパーク)の長寿命化改修、災害時の情報伝達手段の整備のため防災行政無線システム整備などの予算措置により、前年度と比較して9.3%の増加となる予算が示され、本会議での表決の結果、全ての予算の議案が可決しました。

一般会計の歳入・歳出予算の内訳



角田市の令和7年度当初予算の規模



用語解説 「自主財源」と「依存財源」
「自主財源」は、市が自主的に収入できる財源で、この割合が高いほど安定的で自主的な財政運営が可能となります。
「依存財源」は、国や県の基準により交付または割り当てられる財源です。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心				かくだ未来倶楽部				日本共産党角田市議員				無会派 (会派に所属しない議員)			
				菊地利衛	小湊毅	戸村眞喜夫	渡邊誠	武藤広一	菅野マホ	瀧口聖人	日下七郎	八島定雄	齋藤克敏	湯村勇	齋藤強	星隆悦	柄目孝治	堀田孝一	
市長	議会第28号	令和7年度角田市下水道事業会計予算	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議会第29号	財産の無償貸付について (角田消防署移転用地)	可決 (12:2)	○	○	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第30号	角田市道路線の廃止について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議会第31号	角田市道路線の認定について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員	議案第1号	角田市議会委員会条例の一部改正について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第2号	角田市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		

審議結果一覧

[○]は賛成、[×]は反対、[-]は退席又は欠席 議長(馬場道晴議員)は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心				かくだ未来倶楽部				日本共産党角田市議員				無会派 (会派に所属しない議員)			
				菊地利衛	小湊毅	戸村眞喜夫	渡邊誠	武藤広一	菅野マホ	瀧口聖人	日下七郎	八島定雄	齋藤克敏	湯村勇	齋藤強	星隆悦	柄目孝治	堀田孝一	
市長	議案第2号	令和6年度角田市一般会計補正予算(第9号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議案第3号	令和6年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
	議案第4号	令和6年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
	議案第5号	令和6年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
	議案第6号	令和6年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算(第3号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
	議案第7号	令和6年度角田市水道事業会計補正予算(第6号)	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第8号	令和6年度角田市下水道事業会計補正予算(第6号)	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第9号	角田市阿武隈急行線応援基金条例の制定について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第10号	角田市教育振興基金条例の制定について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第11号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
市長	議案第12号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第13号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第14号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (12:2)	○	○	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○		
	議案第15号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決 (12:2)	○	○	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○		
	議案第16号	職員の給与に関する条例及び角田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第17号	角田市市税条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第18号	角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第19号	角田市農村公園条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第20号	角田市水道事業に係る布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	可決 (14:0)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第21号	令和7年度角田市一般会計予算	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第22号	令和7年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第23号	令和7年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第24号	令和7年度角田市介護保険特別会計予算	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第25号	令和7年度角田市産業用地造成事業特別会計予算	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		
	議会第26号	令和7年度角田市東根財産区特別会計予算	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議会第27号	令和7年度角田市水道事業会計予算	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

人権擁護委員の候補者の推薦

《再任》荒井 秀一

《新任》佐藤 孝一

《新任》香山 盛俊

任期 令和7年7月1日
(3年間)

皆ごんからの陳情

▼市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情

伊藤 豪

▼議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情

伊藤 豪

▼家庭・戸の助成制度についての陳情

佐藤 護

▼小田自治センターへの飲料自動販売機設置についての陳情

佐藤 護

請願・陳情の提出期限は

5月30日(金)まで

詳細は市議会のホームページをご覧ください。



角田市議会雑学



定例会や臨時会の様子を知るための手段として、傍聴やライブ中継で視聴するほかに、インターネットから会議録を閲覧することもできます。会議録は傍聴やライブ中継のようにリアルタイムに情報を得ることはできませんが、どのようなことが審議されたのか調べることができます。また、キーワードや議員名からも検索が可能です。

第430回臨時会

2月7日に1日の会期で行われた臨時会では、次の議案について審議し、全会一致で可決しました。

令和6年度角田市一般会計補正予算(第8号)

物価高騰等による負担増を踏まえ、低所得世帯および子育て世帯に対して支給する給付金等の経費について、歳入歳出それぞれ7億9874万6千円を追加するもの。

2月7日の臨時会では、市役所庁舎(一部)の停電によりライブ配信をすることができませんでした。市民の皆さまにご不便、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等について、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質すことです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内(答弁時間は含めない)で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。(その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。)

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
日下 七郎	令和7年度施政方針及び角田市予算案に関する説明書について その他の質問 ・水道事業に関することについて ・笠島川の下流の堤防・道路の整備に関することについて	9
齋藤 強	マイナ保険証の利用促進について 「103万円の壁」における角田市の対応について 学校体育館のスポット(1回)利用について Wi-Fi環境の整備について	9
星 隆悦	空き家等対策について その他の質問 ・令和7年度施政方針及び角田市予算案について ・老人福祉センター(婦人研修センターを含む)の廃止について	10
齋藤 克敏	子どもの体験格差について 不登校への取組について その他の質問 ・角田市子ども計画(案)について	10
戸村眞喜夫	角田市の基金運用の現状について 農業経営収入保険等の保険料補助について	11
八島 定雄	子どもの「心の傷」(トラウマ)から見えてくる不登校問題への解決策について 公益通報者保護法に関することについて	11



令和7年度施政方針及び角田市予算案に関する説明書について

日下七郎



議員▼市長は、当初予算の編成方針で、国の地方財政計画は「質上げと投資が牽引する成長型経済」への移行の分岐点にあると説明している。そこで、分野別に質問する。はじめに、社会保障分野なども・子育て政策の抜本的強化について問う。

市長▼具体的な取り組みは、国のことも未来戦略「加速化プラン」に基づき、病児保育事業補助金や子ども食堂運営費補助金を創設し、多様な支援ニーズへの対応を図るほか、新たに5歳児健康診査を実施し、発達障害や知的障害など個々の発達の特性を早期に把握し、子どもたちの健やかな成長と発達を支援していく。

議員▼次に、新しい地方経済・生活環境創生交付金について問う。
市長▼地方創生2・0の実現に向けた支援策として創設された国の交付金

で、さまざまなメニューが用意されている。当初予算には計上していないが、交付金を活用し事業を行う予定であり、国にデジタル実装型のメニューの実施計画を提出している。今後も積極的に活用していく。

議員▼最後に、緊急自然災害防止対策事業について問う。
市長▼近年、災害が激甚化・頻発化する中、地方公共団体が引き続き防災・減災、国土強靱化対策に取り組めるよう、令和3年度から令和7年度までの5年間、河川事業や治水対策事業などを対象に、事業費に応じて地方債の対象事業として、事業が拡充されている。当初予算に対象となる事業はない。令和7年度に繰り越す予定の笠島川護岸設計業務が対象となる。



マイナ保険証の利用促進について

齋藤 強



議員▼市民のマイナンバーカードの申請状況は、市長▼2万5450件だが、申請不備や重複申請等も含まれている。
議員▼入院している方等、市役所に来れない方等の申請手段はどうか。
市長▼出張サービスの申請となる。施設に希望調査をするも1件のみ。
議員▼マイナ保険証の利用登録状況はどうか。
市長▼健康保険組合は多数あり全体を把握できないが、本市の国保は66.9%、後期は59.1%。
議員▼マイナ保険証を持たない方は資格確認書が交付されるが有効期間は、市長▼県の国保医療課によると1年の予定である。
議員▼申請や登録を促進するために、どのように取り組んでいるのか。
市長▼市内各郵便局の申請サポートや更新時にチラシを同封している。
議員▼マイナ保険証の対応
市長▼税の申告時に相談

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用してパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧いただけます。また、インターネットによる録画中継の配信も行っています。

角田市議会 映像配信 検索

第431回(令和7年2月)定例会
傍聴者数 3人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ359人

インターネット録画中継視聴者数
1月~3月 延べ710人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
瀧口 聖人	防犯カメラの設置と防犯グッズ購入の補助制度について 「入の坊滝」周辺の散策路整備促進について	12
菊地 利衛	積極的な行政力で結果を出す7年度に	12
小湊 毅	角田市の国への要望等の方法について その他の質問 ・庁内での異動に伴う引継ぎについて	13
柄目 孝治	PFAS(有機フッ素化合物)汚染について	13
湯村 勇	阿武隈急行線の今後について	14
菅野 マホ	「宇宙」と「角田市の未来」について	14



星 隆悦

空き家等対策について



議員▼今、日本では空き家が増え続けており、この20年間で約2倍に増加している。国は、近隣に悪影響を及ぼす空き家を特定空き家に認定し、市町村による指導や勧告、解体などの強制執行を行うことができることを定めた「空き家対策の推進に関する特別措置法（空き家法）」を制定した。しかし、特定空き家になってからの対応には限界があることから、令和5年、空き家法を改正し、空き家の除却（解体）・活用・適切な管理を推進するための措置を強化した。

議員▼総務省の令和5年度住宅・土地統計調査「住宅及び世帯に関する基本集計」によると、角田市は、住宅数が1万2500戸中、空き家が1100戸（アパートを除く）である。角田市における空き家等の現状（実態調査）を問う。

市長▼管理が行き届いていない空き家の情報や相談を行政区域長や市民から受け、現地確認などを行っている。令和6年12月末で、管理不全の空き家は22件、特定空き家に指定した空き家はない。議員▼角田市における空き家等対策を問う。

市長▼市民などから情報や相談があった空き家は現地確認をし、必要に応じて所有者や管理者に改善の通知を発送している。それでも改善されない管理不全空き家22件は、巡回し、状況把握に努めている。



議員▼空き家等対策を適切かつ円滑に実施する上で、空き家等対策計画の策定は重要と認識している。実態把握のため調査を行い、策定に取り組んでいく。



齋藤 克敏

子どもの体験格差について



議員▼体験格差とは、習い事や旅行等の体験の格差のことである。子どもは体験が、家庭の事情等によって差がある。現状、すべての子どもの体験格差をなくさなければならぬという社会的共通認識が不十分だ。経済的理由は、体験格差の大きな原因の一つだが、送迎や付添い等、時間的理由も課題である。体験格差によって将来に対する意欲や価値観、他者とのつながりが、子どもたちから奪われてはならない。子どもの最善の利益を追求し、実現していくことは行政の責任でもある。体験格差の実態調査を行う考えはあるか。

市長▼実施の予定はないが、必要性も含めて検討していく。

議員▼体験格差を解消するため、既存のイベントやスポーツ教室等に送迎バスがあれば参加しやすくなる。そうした取り組みを行う考えはあるか。

議員▼参加を促す方策を多角的に検討していく。議員▼体験格差を解消する取り組みを近隣自治体に先んじて行うことで、「子育てしやすいまち日本一」を実現できる。考えるが、市長の考えは、

市長▼体験格差の解消は、一朝一夕に達成できないが、地域全体で取り組むことで改善していくことが可能になると考える。

議員▼中学校へ進学した際の心理的な負担を軽減するため、小学校間での児童の交流が有効なのではないか。協働で学習や交流を行う機会を継続的に設けることで、中学校の人間関係の構築がスムーズになるのではないかと。

議員▼令和7年度には、角田市生徒指導担当者を不登校に特化した形で開催することを予定している。議員のアイデアも会議の中で取り上げ検討していく。



戸村 眞喜夫

角田市の基金運用の現状について



議員▼自主財源確保のため、基金の長期債券運用の割合を増やし、金利上昇で含み損を抱える自治体が複数あることが令和7年1月の新聞記事に載った。本市では、毎年基金が積み上がっており、今後ますます基金運用は重要と思われる。そこで、令和7年1月末現在の基金運用状況、リスク管理体制、何に基づき運用を行っているのかを問う。

市長▼基金総額約92億円のうち約87億円（94.6%）を定期預金等、約5億円（5.4%）を債券で運用している。本市は、角田市資金の保管及び運用に関する基準に基づき、運用事項は基本的に預貯金と定め、部長職等で構成する公金保全対策会議で総合的な対策を講じ、角田市債券運用指針や毎年策定する角田市公金運用方針などの法令

を遵守し運用している。議員▼基金運用とリスク管理の監査はどのように行っているのか。監査委員▼定期監査の中で、基金の投資内容（金利、流動性、信用の各リスクなど）の点検精査を実施し、各種法令や基準・運用方針に基づき適切に運用されており、本市の運用リスクが僅少であることを確認している。

議員▼自然災害のほか、生産物価格下落など、農業者の経営努力だけでは避けることができないあらゆるリスクに対し、収入が減少した部分を補償する農業経営収入保険制度が2019年1月からスタートし、6年が経過した。その間、宮城県農業共済組合の普及活動や本市で令和4年度から始



八島 定雄

子どもの「心の傷」(トラウマ)から見えてくる不登校問題への解決策について



議員▼最近の不登校児童生徒数の激増傾向をどのように受け止めているか。市長、教育長に問う。

市長▼非常に深刻な問題と受け止めている。不登校の状態を容易に解決することは困難なケースが多く、中長期的な視点で対応する必要がある。また、児童生徒が抱える複数の課題を総合的に捉えた上で、必要な機関と連携することが重要である。学校復帰だけでなく、将来の社会的自立を見据えた支援が必要と考える。教育長▼大変ゆゆしき事態である。一概に登校できなければいとは言えない面もあり、対応が難しい数としては大変多く、何とかしなければいけない問題だと考えている。

議員▼学校以外の不登校に関する相談場所として、教育総務課内に「教育相談窓口」を設置することの

議員▼同じ悩みを抱える親への支援が何よりも大切と考えるがどうか。教育長▼子どもの心のケアハウスを設置して、専門のスタッフが常駐し、心のケアや学習支援を行う体制を整えている。不登校を考える学習会について、子どもの心のケアハウス職員などの講話を行い、保護者が抱える不安や悩みを共有し、解決策を見出す手助けをしたい。今後とも、不登校児童生徒への親への支援について、何ができるかを考えていきたい。

議員▼本市では、公益通報の内部通報（1号通報）と行政通報（2号通報）の事例はあるか。市長▼1号、2号通報とも事例はない。議員▼公益通報を「対象」とするが、「対象外」とするかの違いについて問う。市長▼公益通報の対象の事例は、公共の利益に関わる違法・不正行為やそれに準ずる行為で、環境問題や労働、安全、衛生、消費者保護、公共の安全に関する違反など。一方、対象外の事例は、個人のプライバシーや企業の利益・秘密に関わる情報、通報者自身の利益を目的とした内容など。例えば、個人的な不満や競争相手への妨害を目的とした通報は、公益通報として認められないことが多い。



瀧口 聖人

防犯カメラの設置と防犯グッズ購入の補助制度について

議員▼全国的に、匿名・流動型犯罪グループ(トクリュー)、闇バイト絡みの強盗事件や特殊詐欺が発生している現状を踏まえ、犯罪の未然防止と市民が安心して暮らせる安全なまちづくりの推進に向けて、防犯カメラの設置と防犯グッズ購入の補助制度を導入すべきである。

市長▼現在、考えていないが、仙台市のように、町内会など地域の防犯活動における補助制度ということであれば、今後、防犯団体や防火団体などの意見を伺いながら検討していきたい。

「入の坊滝」周辺の散策路整備促進について

議員▼市内各地には数多くの観光スポットがあり、その中の一つに、高蔵寺の奥(高倉川上流)にある「入の坊滝」がある。入の坊滝」までには、馬喰滝・石抱樺(樹齢約300年)・根性の杉などが点在しているが、令和元年台風第19号の大きな被害で、散策路が整備されておらず、危険な箇所もあり、現在、観光地としての案内はできない状況になっている。市内の一

つの名所として、多くの観光客が訪れることができるように、「入の坊滝」周辺の散策路整備促進を望むが、市長の見解を問う。

市長▼「入の坊滝」周辺の散策路は、地元有志により整備された地域に愛された名所だと認識をしている。また、隣接する高蔵寺周辺では、地元の方々が中心となり、環境整備事業や高蔵寺ホテルまつり・さくらまつりなどが開催され、貴重な地域資源の一つになっている。一方で、県河川に沿って個人所有の土地などを含み設置されているため、慎重に検討をしていく必要がある。また、整備については、県河川の関係もあるため、今後確認していく。



一般質問の映像配信をご覧ください。



菊地利 衛

積極的な行政力で結果を出す7年度に

議員▼「令和7年度施政方針及び角田市予算案に関する説明要旨」について質問する。

市長▼「3-Ming」で意見を出し合い、行政として支援していく。

議員▼中小事業者は、働き手の減少、賃金の高騰などによる経営問題がある。市民生活、地域経済を守るためにも相応の支援が必要だ。

市長▼粘り強く要望活動を継続していく。

議員▼地域農業を推進するため、後継者等への支援事業を行うとある。問題は、具体的かつ戦略的な取り組みが伴わないと実績が上がらないことだ。

市長▼商工会と連携し、国への要望を継続する。

議員▼商店街活性化のため「角田市らしい商店街活性化ビジョン」を策定するとある。「商店街の魅力向上」や「市内外の

議員▼JAXAがあるのも「宇宙のまち」をもっと活かして観光開発すべきだ。商店街活性化のため



小湊 毅

角田市の国への要望等の方法について

議員▼昨年、衆議院議員の選挙が行われ、少数与党の状況になった。市長はこれまで、国との太いパイプを作ることが必要と説明している。

今後、国への陳情や相談は、どのような方法で行おうと考えているのかを問う。

市長▼議員指摘のとおり、衆議院議員選挙後、衆議院は少数与党の体制となり、これまでの情勢とは違ってきているが、これまで同様、国およびその出先機関、与党・野党を問わず国会議員の事務所などに足しげく通い、本市の要望がかなうよう、強く訴えかけていく。

議員▼夏には参議院議員選挙が行われる予定だが、

現在の少数与党の体制は、誰もが経験したことのない状況である。そのため、国に、どのように陳情や相談をしていくのか、ものすごく難しく、与党・野党とあるが、どこに行けばよいのか分からないという話も起きてくることも想定される。

細いパイプも束ねれば太くなる。そのことを努力していただきたいと考えるがどうか。

議員▼国とのやり取りや情報収集、申請などは、これまでどおりの流れになることが想定される。しかし、状況が状況だけに、何が起るかわからない。そのため、

これまで以上に、国の情報を探していくことが必要になると思われるので、しっかり行っていただきたいと考える。市長の見解を問う。

市長▼まさにそのとおりである。今年度であれば、国の機関だけでも20回を超えて訪問している。国土交通省には、特に防災・減災について、十数回訪問しており、その中で、官僚の方々や国の職員の方々と多くつながりをつくってきた。



一般質問の映像配信をご覧ください。



柄目 孝治

PFAS(有機フッ素化合物)汚染について

議員▼第429回定例会の一般質問に続くが、水道水の汚染や水源上流域の不法投棄は、未来永劫担保することはできないと考える。福島市内で発生した阿武隈川への汚染物質流失事故の経緯と対処経過を含め、管理体制全般について問う。

市長▼閉店店舗立体駐車場からPFOSを含んだ泡消火剤が下水道施設に流出した可能性があり、福島市は継続監視を行い、結果、河川等への影響はなかった。本市では、枝野原水の枝野取水口と水道水末端の宮沢公民館外水道で採水し、検査の結果、PFOSは不検出であった。なお、緊急時には、岩沼市水質検査センターで速やかに水質検査を行う体制を整えている。

議員▼角田市では、常時監視を行っているのか。

市長▼水質基準項目の51

項目を年1回、うち21項目を年4回、平常項目の15項目を毎月検査し、検査頻度を上げている。また、水道水の色、濁度、残留塩素、pH値は各配水池および末端栓水8カ所ですべて毎日検査することで、常時監視体制を整えている。

議員▼阿武隈川流域は、多くの自治体からの廃棄物が流入している可能性が大きい。流域自治体間の連携は重要となる。どのように連携し監視体制を整えているのか。



阿武隈急行線の今後について

湯村 勇



議員▼令和7年度当初予算には、阿武隈急行線に...

多くの予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

現在、角田市阿武隈急行線利用促進協議会(協...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

市議会議員を含む168人で構成していた。再結...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

行政区、市内企業、通勤・通学利用者の代表などで...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

議員▼市民に意見を聴取するのが議員である。市民...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...

多額の予算が必要となる。市長▼令和6年度は、阿...



「宇宙」と「角田市の未来」について

菅野 マホ



議員▼宇宙が身近な存在になって今、JAXA...

設立を求める。市長▼今のところ創設の考えはない。

「日本宇宙少年団」と「スペーススター・コスモハウス」について...

議員▼③コスモハウスと台山公園の一括管理を...

JAXAと提携して青少年活動を行うのが「公益財団法人日本宇宙少年団」...

議員▼コスモハウスが非公募になっている理由は、副市長▼収入が少ない...

議員▼「角田市第6次長期総合計画(長総)」後...

議員▼長総の令和7年度からの実施計画に「JAXA」や「宇宙」という...

議員▼②角田市役所に「宇宙推進課(仮称)」の...

議員▼載せていない。市長▼載せていない。



▶ロケットと桜/4月

教育厚生建設常任委員会 所管する課題について先進自治体の事業を調査・研究するため、視察を行いました。

【視察期間】令和7年1月15日(水)～17日(金)

【視察地・目的・視察所感】

①福岡県福岡市 「いじめ・不登校等の未然の防止・早期対応の取組について」

福岡市では、さまざまな理由で不登校の状況にある子どもたちに対して、学校復帰や社会的自立ができるように、総合的な支援を行っている。

中でも教育相談は、心理面・福祉面・教育面の3体制で構成され、有資格者がそれぞれ子どもや保護者の対応にあたるほか、学校、医療機関、福祉機関とも連携しながら、状況に合わせた支援を行っている。

心理面・スクールカウンセラー(公認心理士、臨床心理士)をすべての市立学校に週1日から2日配置 福祉面・スクールソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)をすべての市立学校に週1日から2日配置



▲福岡市役所にて

さらに、令和7年4月には授業時間や学習内容など柔軟に設定できる「学びの多様化学校(福岡市立百道松原中学校)」の開校に向け、新たな取り組みが始まっている。

政令都市である福岡市の不登校率は角田市より低いものの、子どもの数に比例して子育てに悩む家庭が多い。その取り組みを角田市にも反映させられる項目について検討し、政策提言を検討していきたい。

②福岡県福津市 「子育て支援サイト「こどもの国」の取組について」

角田市では、令和5年に子育て支援アプリ「ほっぺナビ」が開始となった。福津市では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、保護者への早急な情報伝達ツールの必要性が生じたことで、令和2年に子育て支援サイト「こども

の国」を導入しており、令和6年12月現在、未就学児の保護者の登録率は61.8%で高いことが伺える。「こどもの国」は、サイト内で完結できることが魅力で、各種講座や相談の予約は電話をする必要がなく、サイト内のボタンひとつで完結する。その利便性は、若い世代の保護者にとって、有効な活用ツールとなっている。

また、子育てサービスマップを母子手帳に挟んで持ち歩けるようにリニューアルするほか、父親を支援するための講座なども充実している。

「子育てしやすいまち。日本一」を目指す角田市の子育て支援アプリ「ほっぺナビ」が更に充実したものであるため、有効と考えられる手段についてはリニューアルを検討するなど、政策に反映できるよう取り組んでいく。

③福岡県太宰府市 「だぞいふ・ふるさと学習の取組について」

史跡や古墳も多く歴史的に有名な地域である太宰府市のふるさと学習は、「太宰府を愛し、誇る児童生徒の育成」を目標とし、3つのテーマで構成されている。



▲太宰府市議場にて

読本を作成している。【太宰府のための学習】太宰府の歴史や文化の継承、史跡等の保存と活用について考え行動するために、フィールドワークや体験活動を実施している。小学校では調べた資料を基に台本を作成し、観光客などに史跡の解説員として説明する機会を設けたり、中学校ではクラスごとに太宰府の観光パンフレットを作成する取り組みをしている。

【太宰府を通しての学習】他者や社会、自然とのつながりを認識するために、学校内に地域コーナーを設置し、地域情報を掲示しているほか、校内放送で地域の情報提供や行事への呼びかけをしている。

太宰府市では、児童生徒にさまざまな視点から学習する機会を与えていることが伺えた。角田市も歴史ある地域であるため、児童生徒のふるさとを愛する心を育むためのヒントが得られた。

角田警察署交通課より講師をお招きし開催した交通安全講習会で、市内の交通事故発生状況とその特徴などについて講演をいただきました。車を運転する際の視野（見える範囲）は、両目で左右に210度程度ですが、有効視野（中心を見ながら同時に情報処理を行うことができる範囲）は30度程度で、周囲への気づきや反応が遅れることが多くなるため、車の運転中は、自分が思っているよりも周囲が見えていない、また、相手からも見えていないことを意識する必要がありますとのことでした。

続いて、黒須市長より令和7年度当初予算の概要について説明をいただきました。防災・減災構想に掲げる駅前花島線道路整備や総合保健福祉センター（ウエルパーク）の長寿命化改修等の主な事業について説明を受けました。（詳細は4、5ページ）



16日	12日	11日	10日	7日	5日	4日	3日	28日	27日	20日	17日	12日	10日	7日	4日	3日	1日	31日	27日	20日	15日	
議会だより編集会議	議会運営委員会・議会だより編集会議	本会議（第6日）・全員協議会	本会議（第5日）・議会運営委員会	本会議（第4日）・議員協議会	予算審査特別委員会（第5日）	本会議（第3日）	議会運営委員会・総務産業常任委員会	予算審査特別委員会（第2日）	本会議（第2日）	議会運営委員会	本会議（第1日）・会派代表者会議	議員協議会・議会運営委員会	会派代表者会議	第431回定例会招集告示	全員協議会	議会運営委員会・本会議（第1日）	議員協議会	かくた市議会だより第231号発行	第430回臨時会招集告示	会派代表者会議	教育厚生建設常任委員会行政視察（17日）	会派代表者会議

編集後記

角田市の令和7年度予算が予算審査特別委員会での厳正な審議を経て可決されました。新規事業で小児科医招致のための補助金が予算化され、角田市内での小児科開設に本格的な一歩を踏み出します。長年にわたって小児科が不在であったため、子育てに苦労された方も多かったと危惧していたので、早期に開設されることを切に望みます。ほかにも病児保育事業が予算化され、保育料や給食費の無償化に加えて、さらに「子育てしやすいまち。日本一」へ突き進むものと期待しております。

議会だより編集会議
委員 齋藤 強

6月定例会の予定

会期 6月6日(金)～6月23日(月)

本会議の日程（午前10時開会）	
6月6日(金)	提案理由の説明
17日(火)	質疑・自由討議
19日(木)	討論・表決・一般質問
20日(金)	一般質問
23日(月)	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※本会議はライブ配信（生中継）を行います。

議会だより第231号(2月号)アンケート結果

アンケート結果の一部をお知らせします。

2月号で興味を持った記事はありましたか。(複数回答)

①定例会「概要・質疑」	2人
②条例の解説	1人
③定例会「質疑・討論」	2人
④請願審査	4人
⑤議案審議結果	6人
⑥一般質問（質問項目）	2人
⑦一般質問（質問内容）	7人
⑧角田市議会から	3人
⑨2月定例会の予定	2人
⑩興味を持った記事はなかった	0人